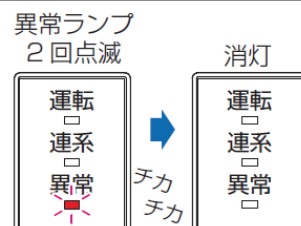


停電時の使い方（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止したとき、システムを自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセントから使用することができます。

停電時に、異常ランプが5秒間に2回点滅を繰り返している場合

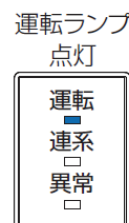
「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」になっています。
自立運転で使用する場合は、下記の手順 1～4 を行ってください。



停電時に、運転ランプが点灯している場合

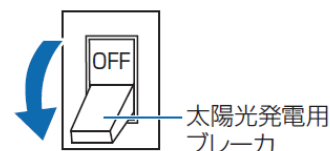
「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」になっています。

- 自動的に自立運転に切り替わっています。
- 自立運転時の発電電力は併設している蓄電システムに送られます。
- 停電用コンセントは設置されていません。



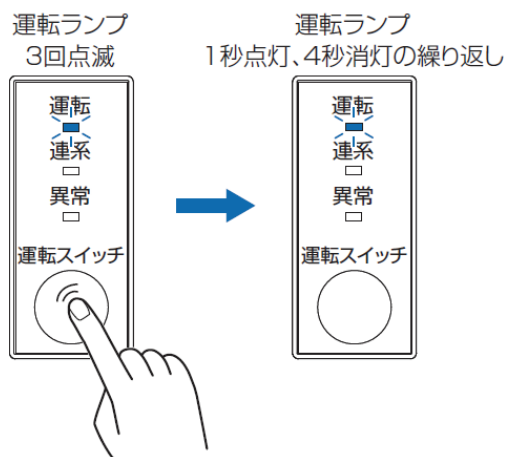
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべてのランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。

1 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オフ」にする



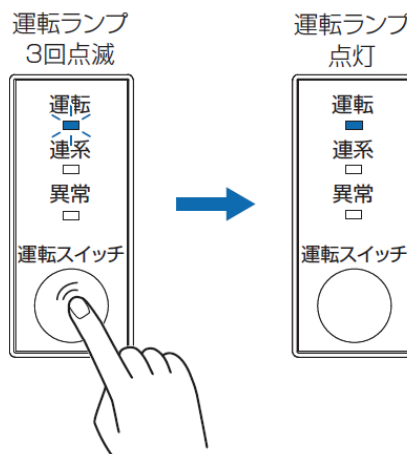
2 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 運転ランプが1秒点灯、4秒消灯を繰り返します。



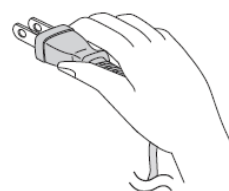
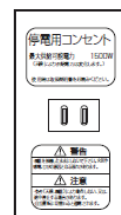
3 運転スイッチを5秒以上押し続ける

- 運転ランプが3回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチツカチツカチツと動作音がします。
- 自立運転を開始すると、運転ランプが点灯します。



4 停電用コンセントに使用したい機器を接続する

- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。（⇒ 4）
- 接続する機器の合計消費電力は、1500VA以下（AC100Vで最大15A以下）になるようにしてください。



復電時の操作（連系運転への切り替え）

「連系運転と自立運転を手動で切り替える設定」(⇒ 11) になっている場合

復電後は、手動で連系運転に切り替える必要があります。下記の手順 1～4 を行ってください。

- 夜間に復電した場合は、手順 2 のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。
- 連系運転に切り替える際、停電用コンセントに接続している機器は外してください。

「連系運転と自立運転が自動で切り替わる設定」(⇒ 11) になっている場合

復電後は、最大 5 分程度で自動的に連系運転に切り替わります。下記の手順 4 のみ行ってください。

- 下記の手順 4 で運転ランプと連系ランプが点灯せず、異常ランプがゆっくり点滅（2 秒点灯、2 秒消灯）を繰り返している場合は、下記手順 ①、② を行って連系運転を開始してください。

① 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける (⇒ 8)

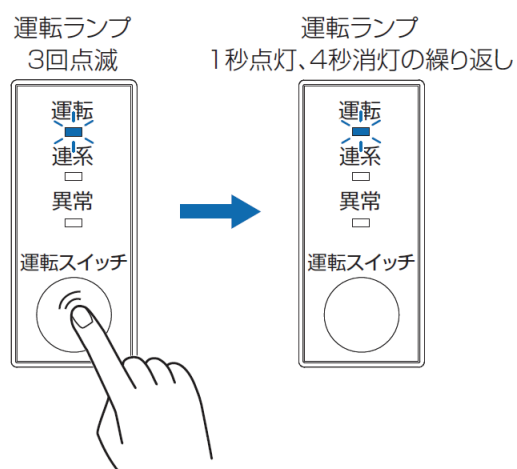
- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。

② 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける (⇒ 8)

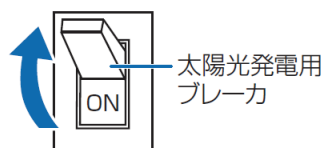
- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。

1 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オフ」状態になります。
- 運転ランプが 1 秒点灯、4 秒消灯を繰り返します。
- 自立運転が停止します。

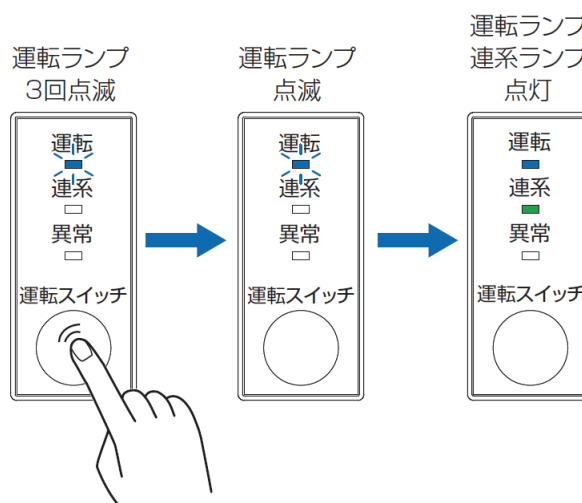


2 太陽光発電用ブレーカ (⇒ 6) を「オン」にする



3 運転スイッチを 5 秒以上押し続ける

- 運転ランプが 3 回点滅し、運転スイッチが「オン」状態になります。
- 連系運転を開始するまで、運転ランプが点滅します。



4 運転ランプと連系ランプが点灯し、連系運転が開始していることを確認する